

本年度の事業推進について

会長 大形 則義



石内地区のみなさまには、日頃から地域の福祉推進にご参加、ご協力いただきお礼申し上げます。

新型コロナウイルス感染症は高止まりが続く、終息する気配がありません。そのような中、私達には「ウィズコロナ（コロナウイルスと共存していく社会）」の日常生活が求められるように思います。感染対策をしながら、地域活動やサロンにご参加いただき、健康増進や介護予防に取り組んで行きましょう。コロナの自粛疲れや困りごとも多々あるかと思えます。何なりと石内地区社会福祉協議会、民生委員、町内会福祉委員、三和地域包括支援センターにご相談ください。

さて、令和3年度の事業報告と決算報告並びに令和4年度の事業計画（案）、予算書（案）について、4月17日に理事会を開催して承



事業計画・予算書案などを審議した理事会
(4月17日)

認を頂きました。委員会（総会）につきましては、コロナの感染拡大防止対策のため、理事会にお諮りして、書類郵送による書面議決にさせて頂きました。

その結果、事業報告・決算報告、事業計画（案）・予算書（案）、献血事業の議案は賛成多数で議決されました。

令和4年度の主な活動事業は以下の通りです。

1. ふれあい・いきいきサロン事業の推進
まごころ弁当の配膳・見守り
いきいきサロン石内の開催と他団体のサロン支援
2. 近隣ミニネットワーク事業の推進
石内支え合いネットの運営
福祉委員関係者会議の開催
3. 敬老会・芸能発表会の開催（9月19日）
75歳以上の高齢者をご招待
4. 地域団体連携支援基金の活用検討
地区社協と他団体が連携して行う新事業への広島市の助成事業（最大50万円）
5. 石内児童館（仮称）の開設支援
石内小学校内に来年度初めに開設予定
6. 集団献血事業への協力
2回/年計画（10月2日、2月19日）
その他事業計画に則り推進して参りますので、お気づきの点につきましては、どうぞご提言をお願いいたします。



介護保険について勉強されるいきいきサロン参加者
(4月28日)

※上記の事業計画で推進する予定ですが、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、「まごころ弁当」「ふれあい・いきいきサロン石内」などの活動が中止となる場合もあります。利用者、参加者の皆様にはご迷惑をおかけしますがご了承ください。

佐伯区社会福祉協議会会費（120円/世帯）
をご納付いただきありがとうございました。

いきいきサロンに参加しませんか

日 程	内 容	講 師	場 所
6月23日(木) 13:30~15:00	カラダは食べた物からできている ～大切な栄養素とは～	(株)明治 伊木 聖子先生	新宮山荘
7月28日(木) 13:30~15:00	①認知症シリーズ 「認知症について知ろう」	三和地域包括支援センター	石内公民館
8月25日(木) 13:30~15:00	知っている役立つ薬局の使い方	株式会社ドラッグしみず 吉川 紀彦先生	新宮山荘
9月29日(木) 13:30~15:30	買う前にわかる! はじめてさわ る! 「スマートフォン教室」	ソフトバンク株式会社 大西 孝先生	石内公民館
10月27日(木) 13:30~15:00	②認知症シリーズ 「認知症の人への対応」	三和地域包括支援センター	新宮山荘
11月17日(木) 13:30~15:00	③認知症シリーズ 「認知症になっても安心して住め る町づくり」	三和地域包括支援センター	石内公民館

対象=おおむね 65 歳以上の方 定員=20 人程度 参加費=無料 申し込み・問い合わせ=石内公民館
(Tel 941-0120) 三和地域包括支援センター (Tel 926-0025) 主催: 石内地区社会福祉協議会・
三和地域包括支援センター・石内公民館 ※コロナウイルス感染拡大防止のため、中止となる場合もありま
す。石内公民館では、上履きをご持参下さい。

石内児童館

来年 5 月開館へ今夏から工事

石内小学校本校舎の空き教室に開設される石内児童館(仮称)は 8 月から改装工事が始まります。開館は来年 5 月の予定です。

本校舎 2 階の 4 教室を児童館と石内放課後児童クラブに、1 階の玄関左横の空き教室に出入り口・2 階への通路を設け、残りスペースを地域住民も利用できる集会室(コミュニティルーム)に改修する計画です。3 年度に設計を終えており、8 月はじめに工事に着手、2 月末までに完成する予定です。工事費は 7,100 万円。騒音の大きな工事は夏休み中に施工するそうです。

新しい地域福祉推進委員に大江さん



大江直美さん

この度、地域福祉推進委員をお受けしました大江です。微力ですが、石内地区に少しでもお役に立てるよう皆様のご指導のもと頑張ります。よろしくお願い致します。

4 月 17 日に開かれた石内地区社会福祉協議会の理事会で、活動強化のため地域福祉推進委員を 1 名から 2 名に増員する規約改正が議決され、新しい地域福祉推進委員に大江直美さん(平岩)を委嘱することが承認されました(その後の委員会〈総会〉で書面議決)。現推進委員の免出一彦さんとともに事務局を担当します。

編集後記

数年前、佐伯区内で長年、町内会長を務めた人が高齢を理由に辞任を申し出たところ、後継会長の引き受け手が現れず、町内会を解散した、という話を聞いた。石内地区でも役員跡継ぎが見つからず、活動休止を余儀なくされる団体がでた。地域コミュニティ活動の担い手(後継者)が不足する事態は全国的に拡大している。役員を辞めたくても辞められない。在任期間も長くなり、高齢化も目立つ。活動団体にとって担い手の発掘・育成が喫緊の課題になっている。悩ましいのは解決する妙案が見つからないことだ。防災や福祉、防犯、子どもの教育など安全、安心な地域づくりの推進には、社協や連合町内会など各種団体の継続的な活動が欠かせない。皆さんに担い手不足の現況を知っていただき、格段のご協力をお願いする次第です。(R)